

声



コルチカム

魂たましいの歌声き聴きき
決意を新たに

神戸市東灘区
福島 進一

(会社員 36歳)

神戸芸術センターで開かれた「愛と勇氣」レーナ・マリアコンサートを鑑賞してきました。本紙の「情報プラザ」に紹介されていま

したが、スウェーデン歌手の彼女は、両腕がなく、片足が未発達の状態じょうたいで生まれ育ちました。

聴きくのは初めてでしたが、魂たましいの底からあふれ出る美しい歌声に、至福しふくのひとつを過すごしました。さまざまに困難くわんなんに打ち勝かちってきた彼女の輝かがやく笑顔が、誰だれ

もが皆みな幸せしあわせになるために生まれてきたのだ、と語りかけてきます。

両親りやうしんの深い愛情あいじやうと、誰もが平等びやうどうに生きていけるスウェーデンへの感謝かんしゃを語る姿を見て、私もこの日の感動を胸むねに、誰もが輝かがやいていける社会しゃかいづくりに貢献こうけんできるよう、決意を新たにしました。